

依存症対策条例案を否決

大阪市議会
本会議

カジノ誘致にこそ反対を

日本共産党 山中智子^{議員}が反対討論



反対討論する山中議員
11月27日、大阪市議
会本会議場

ました。

山中氏は「一番大きな疑問は、カジノという賭博場の誘致と、ギャンブル依存症対策の推進が両立するのかということだ。ギャンブル依存症は、誰が陥ってもおかしくない病気だからこそ、最大の予防は、ばくち場をつくらないことだ」と断じました。

大阪維新の会は反対討論で、ギャンブル依存症対策で府の条例がある下で、市独自の条例を制定すれば、「結果として二重行政になる」などと述べました。カジノ誘致はあくまで推進する姿勢です。

5月27日の大阪市議会

と述べました。

本会議で、自民・公明が提案した「大阪市ギャンブル等依存症対策条例案」が、日本共産党、大阪維新の会などの反対多数で否決されました。日本共産党の山中智子議員は反対討論で条例案の問題点を指摘。「人の人生をめちゃくちゃにする力シノ誘致にきっぱり反対することこそ、いま最も求められるギャンブル依存症対策だ」と主張しました。

山中氏は、家族のギャンブル依存症に苦しむ人々から直接聞いた深刻な現状を紹介しました。ギャンブルにのめり込んでうそをつき、家族や会社の金品を盗む。行方知れずになる。闇バイトに手を出す。「異口同音に、地獄のような日々の中で泣き続け、自殺も考えた」と語って下さった

(2025年6月8日付大阪民主新報)